6.8.8 公共交通へのアクセシビリティ

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.8-1 に示すとおりである。

表 6.8.8-1 調査事項

区 分	調査事項		
ミティゲーションの実施状況	 ・工事工程の平準化や施工計画の検討により、工事用車両が集中しないこと等に努める。 ・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する。 ・計画地周囲の歩道等を占用する工事を行う場合には、交通整理員の配置等を計画する。 ・工事用車両の走行にあたっては、安全走行の徹底、市街地での待機や違法駐車等をすることがないよう、運転者への指導を徹底する。 ・工事中は、会場エリア内にある晴海客船ターミナルへのアクセスルートを確保する。 		

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.8-2 に示すとおりである。

表 6.8.8-2 調査手法

調査事項		工事用車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化 の程度
調査時点		工事中の適宜とし、平成28年4月から平成29年12月末とした。
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とし、平成28年4月から平成29年12月末とした。
調査地点		計画地及びその周辺とした。
調査手法	- > < > < > < > < > < > < > < > < > < >	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.8-3 に示すとおりである。

公共交通へのアクセシビリティに関する苦情は、平成 29 年 12 月末まで 1 件あった。晴海 客船ターミナルまでの歩行者動線が分かりづらいというものであり、案内・誘導看板を追加 する等対応を図った。

表 6.8.8-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・工事工程の平準化や施工計画の検討により、 工事用車両が集中しないこと等に努める。	工程会議等で施工計画を検討して工事工程を平準化し、計画的かつ効率的な運行管理に努めている。(写真6.8.8-1)
・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する。	工事用車両の出入口付近に、交通整理員を配置し、一般歩行者の通行及び一般に支障を与えないよう配慮している。 (写真6.8.8-2)
・計画地周囲の歩道等を占用する工事を行う場合には、交通整理員の配置等を計画する。	歩道を占用する工事の際には、所轄警察の許可を得たうえで、バリケードの設置や代替路の確保、交通整理員を配置し、 歩行者の妨げにならないよう配慮している。(写真6.8.8-2、 写真6.8.8-3)
・工事用車両の走行にあたっては、安全走行の 徹底、市街地での待機や違法駐車等をするこ とがないよう、運転者への指導を徹底する。	定例会議や朝礼等で工事用車両の安全走行の徹底、市街地での待機や違法駐車等の禁止について指導を行っている。 (写真6.8.8-4、写真6.8.8-5)
・工事中は、会場エリア内にある晴海客船ターミナルへのアクセスルートを確保する。	会場エリア内にある晴海客船ターミナルへのアクセスルートを確保している。また、アクセスルートについて、案内・誘導看板を設置している。



写真 6.8.8-1 工程会議



写真 6.8.8-3 代替路



写真 6.8.8-5 朝礼



写真 6.8.8-2 交通整理員



写真 6.8.8-4 定例会議